

**箱根駅伝で総合優勝に貢献
亜大のアンカー＝岡田直寛さん**

1月2日から3日にかけて、新春恒例の第82回東京箱根間往復大学駅伝が行われ、松橋町両仲間の岡田直寛さんが亜細亜大のアンカーとして出場しました。9区でトップに立った山下選手からたすきを受けた岡田さんは、安定した走りで2位に1分40秒差をつけ、そのままトップでゴール。亜細亜大は往路6位からの大逆転を果たし、大会の歴史に残るレースとなりました。

総合優勝に貢献した岡田さんは、「今回、初出場です。母校の初優勝のゴールテープを切れたことは、本当にうれしく思います。その一方で、まだ力不足を感じました。来年は、4年としてチームの主力となっていきたい。」

また、宇城市出身として、箱根に出たことに対し、恩師をはじめとする市民の皆さま方に感謝したい」と東京からメッセージを送ってくれました。



大会後、一時帰郷した岡田さん

**無病息災！五穀豊穡！
浄化の炎 どんどや**

1月8日、小川町の新田橋付近の砂川で恒例の「どんどや」が行なわれました。砂川が天井川である特性を生かし、河川の中に10m以上の大きな山3基がつくられました。

1年間の無病息災を願って点火。バリバリと音をたて、瞬く間に火柱となって白煙が上がると、子どもたちから大きな歓声が上がりました。その後、火勢が弱くなると、参加者は正月に飾った鏡もちなどを竹ざおの先に付けて焼き、おいしそうに食べていました。



さあ、焼くぞ

**親子のあま～いひととき
親子で作ろうおいしいケーキ**

宇城市の小学生の親子を対象に「親子で作ろう！おいしいケーキ」が12月23日・24日、市教育委員会と青少年育成市民会議の主催により開催されました。市内4会場でそれぞれ親子だんらんの時を楽しみながら、食育について関心を高めました。

親子で協力しながらスポンジを焼いたり、クリームを作ったりと、歓声を上げながら家族ごとにオリジナルのケーキを作りました。



飾りつけもバッチリ、食べるのが楽しみ♪

**頭すっきり、笑顔にっこり
正月頭をプレゼント!!**

12月19日、熊本県理容組合三角支部青年部（竹崎一仁部長）がお年寄りに「正月頭」をプレゼントしようと、不知火町永尾の養護老人ホーム松寿園を訪れ散髪ボランティアを行いました。

この活動は、平成11年の台風18号災害の際、松合地区の人たちを励まそうと行ったところ大変好評だったため、以降も店休日を利用して継続。今回が7回目となりました。

同部員5人は入所者と会話を楽しみながら散髪。入所者は「サッパリしてとても気持ち良かった」と笑顔で感想を語りました。



散髪中に思わずこぼれる笑顔

宇城市環境保全隊を設立 きれいなまち「宇城市」を目指して

1月20日、宇城市の環境保全に取り組むNPO法人（特定非営利活動法人）宇城市環境保全隊の設立総会が、市役所本庁で開かれました。

定款や事業計画、役員を選任などについて承認。2月に県へ法人設立申請を行い、認証を受ければ、登記することにより法人として成立します。

総会には、区長や婦人会、老人会の各代表などの設立発起人（蔵田剛代表・23人）が出席。蔵田代表が「これまでも婦人会や老人会など各種団体において、地域の環境保全に対応してきたが、組織立ったものの必要性を感じていた。地域の環境は自分たちで守るという認識が必要。これを機に環境保全の輪が広がり、全市民が興味を持つよう推進していきたい」とあいさつしました。

来賓の阿曾田清市長は「宇城市全体を公園としてとらえ、どこにもないきれいなまち“宇城市”をつくってほしい」とお祝いの言葉を述べました。

同隊は当面、市役所不知火支所内に事務所を置き、個人や団体の正会員、賛助会員を募って組織を運営。環境保全のほか、まちづくりや保健・医療・福祉の増進、社会教育、災害救援など幅広い活動を行います。

問合せ先 環境衛生課 ☎32-1111



設立総会であいさつをする蔵田剛設立発起人代表

**ワクワク！ドキドキ！
小学生が遺跡発掘体験**

12月21日、小野部田小学校の5、6年生37人が、小川町北部田の高倉遺跡で遺跡発掘体験に参加しました。

児童たちは、稲富陽子学芸員の指示の下、小雨の中スコップを持ち、小皿や土器などを掘り出しました。

同遺跡は、農村総合整備事業による道路改良工事に伴い、市教育委員会が10月から550㎡を調査しているもので、鎌倉時代を中心に中世の遺物が多数出土しています。

出土したさまざまな遺物



出土品の説明に聞き入る児童



何が出るかな？

